

2/25 34.72

新基地ノー 民意は明確

沖縄県民投票4年でデニー知事

沖縄県名護市辺野古
の米軍新基地建設をめぐり、7割以上が埋め立てに反対した201

9年の県民投票から4
年となつた24日、玉城

デニー知事は、県民投票が「県民の意思が直接確認された」とう

ての可否を問うとの争いに応える」と表明しました。

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設をめぐり、7割以上が埋め立てに反対した2019年の県民投票から4年となつた24日、玉城デニー知事は「メントを発表し、「辺野古た新基地は造らせてはならない重要な意義がある」

と強調。辺野古埋め立ての可否を問うとの争いに応える」と表明し、県民投票で示された民意を一つに絞った上で実施された結果、「辺野古埋め立て多数の辺野古埋め立てに反対する県民の民意が明確に示されたことは、重い導きのものだ」と訴えました。

いう決意を新たにし、県民投票で示された民意に応える」と表明しました。

デニー知事は、県民投票が「県民の意思が直接確認された」という結果を「辺野古埋め立てに反対する県民の民意が明確に示されたことは、重い導きのものだ」と訴えました。

姿勢を粘り強く求めています」としました。

さうしたデニー知事は、トーキャラバンや国際社会への発信などを通じて「国内外に辺野古新基地建設問題は沖縄だけの問題ではなく、民主主義と自己決定権のあり方が問われていく」と訴え続けているものの、軟弱化地盤の改良工事に伴う倒的多数の辺野古埋め立てに反対する県民の民意が明確に示されたことは、重い導きのものだ」と訴えました。

政府が民意を一顧だにせず工事を强行し続けているものの、軟弱化地盤の改良工事に伴う倒的多数の辺野古埋め立てに反対する県民の民意が明確に示されたことは、重い導きのものだ」と訴えました。

政府が民意を一顧だにせず工事を强行し続けているものの、軟弱化地盤の改良工事に伴う倒的多数の辺野古埋め立てに反対する県民の民意が明確に示されたことは、重い導きのものだ」と訴えました。

政府が民意を一顧だにせず工事を强行し続けているものの、軟弱化地盤の改良工事に伴う倒的多数の辺野古埋め立てに反対する県民の民意が明確に示されたことは、重い導きのものだ」と訴えました。